



今月・来月のプログラム

- 5月26日(土) 南相馬RC 認証伝達
- 5月30日(水) クラブ協議会 委員会活動報告①
- 6月6日(水) クラブ協議会 委員会活動報告②
- 6月13日(水) 浅倉俊一ガバナー補佐訪問
〃 新旧理事会(17:00~ロイヤルホール)

編集担当 高橋 正一

第41回例会

平成19年5月9日(水)
サンパレス福島

本日のプログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 奉仕の理念
3. 四つのテスト
4. 来訪者の紹介と会長挨拶
5. 各表彰
ポールハリスフェロー(1名) 高橋和之会員
マルチプル ポールハリスフェロー
黒羽好夫会員 穴戸清和会員 齋藤建一郎会員
6. ゲストスピーチ
福島市役所総務部総務課
参事兼総務課長 菊池稔様
「福島市制施行百周年記念事業の取り組みについて」
メイクアップ 福島21RC 宗形守敏様
7. 各委員会報告
8. 閉会点鐘

会長挨拶

齋藤 ミヨ会長



皆さん こんにちは。4月1日100歳の誕生日を迎えた福島市では、この一年を通して様々なお祝いの行事が繰り広げられています。

本日は、福島市役所総務部総務課 参事兼 総務課長 菊池 稔様をゲストとして「福島市制施行100周年事業の取り組みについて」のスピーチをいただく予定になっております。後程ゆっくりと拝聴させていただきます。

先週は雑誌委員会の委員長の吾妻学さん、そして委員の高橋正一さんより雑誌委員会としてのスピーチを

いただきましたが、その中でロータリーの友を購読すると日本の情報、R1の情報が分ると話されました。正にその通りです。

私も5月号で感銘を受けた記事がございます。“日本でもらったもの”と題して、人生を変えた交換学生の経験の記事でした。元、青少年交換学生のペイシ・ウェディングさんのお話ですが、ただ文化、民族中心的な見解を身につけるのではなく、忍耐と受容こそが必要なことである、交換学生として、世界平和の使者の一員であることを誇りに思いました。

ということで、1990~1991年(16年前)、第2640地区(大阪・和歌山)に住みました。自宅から遠く離れて住むことが私を大きく成長させる経験となりました。現在、ロータリーに入会し27歳でロータリアンであることを誇りに想い、世界の様々な国民の間の橋を架け、情勢が難しい時こそ、この様な橋が最も大切な仕事だと思います。あの日本での体験がなければ今の自分はなかったでしょう。そして日本人と出会った事が今の自分を変えてくれました。

ロータリー青少年交換学生として受けた素晴らしい体験に対し返すべき借りがあったからです。この借りは活発な会員となっても委員会の仕事をしてロータリー財団に寄付をしても決して返しきれぬ物ではありません。現在、第6580地区(アメリカインディアナ州)で活動しております。(5月号ロータリーの友 横書き10~12ページに掲載されております)

さて、連休も明け、それぞれに家族サービス、趣味等でストレス解消され、心も体もリフレッシュされたかと思われま。私事となりますが、4日に南蔵王の不忘山(1705m)に登ることが出来ました。今年は雪が少ないと思いましたがまだまだ大変な雪に驚きました。登山道の2/3は雪道約4時間で頂上にたどり着きました。最高の天候に恵まれ見渡す四方の山々はた

だシンプルな雪の白と石山の灰色なのにこんなにも美しく凛とした景観にただ感激でした。私に文才があれば山の雰囲気はどんなものであったかもっと感動を与えられるのですが、残念ですがその辺は想像豊かな皆さんにお任せ致します。今はただ今年も登れたことに感謝しております。

「福島市制施行百周年記念事業の取り組みについて」



福島市役所総務部総務課
参事兼総務課長 菊池稔様

- 明治40年 市制施行
 - 明治44年 日本銀行福島出張所が福島支店に昇格
 - 大正7年 福島競馬場完成し第一回福島競馬の開催
 - 昭和2年 本町に福島ビルディング落成
 - 昭和22年 市町村合併
 - 昭和27年 市役所新庁舎落成
 - 昭和32年 市制施行50周年
 - 昭和43年 市町村合併(ほぼ現在の形に)
 - 昭和45年 信夫山トンネル開通
 - 昭和48年 あづま陸橋完成
 - 昭和50年 東北縦貫自動車道開通
 - 昭和58年 東北新幹線開業
 - 昭和63年 阿武隈急行開通
 - 平成元年 土湯トンネル開通
 - 平成7年 摺上川ダム本体工事着工、国体開催
 - 平成10年 福島西道路開通
 - 平成15年 摺上浄水場完成
 - 平成19年 摺上ダム水本格供給開始
- 市制施行百周年記念 各記念事業予定



菊池様 ありがとうございます！
ポールハリスフェロー おめでとうございます！

